



綠蔭隨想抄 □ □ (三)

渡邊何鳴

俳友の赤君の句である正

懲罰・貯ひする。

紅葉山人の

繪扇の倇き入打つ方か

も眞跡

秋月陽明輝・冬徹秀孤吟

鶯村の句

雲の峯四澤の水の酒れ

よき

春・満四澤・夏雲・奇略

秋月陽明輝・冬徹秀孤吟

鶯村の句

雲の峯四澤の水の酒れ

よき

吉三弟 辛申甲斐現れ

と西と良・黒行

五黄齋のみ大にして音

五黄齋の見止

巽と壬が吉△四緑諸事順

より内に在るが利得の日坤

と西と良・黒行

五黄齋の見止

巽と壬が吉△四緑諸事順

より内に在るが利得の日坤

はお光で夜・日もあらず

退職給与基金

五黄齋の見止

巽と壬が吉△四緑諸事順

より内に在るが利得の日坤

わしはとつと床につくた

株積立金

五黄齋の見止

巽と壬が吉△四緑諸事順

日用品値下げ

濱二郡町村長會へ

連判状を以て陳情

共鳴者續出か

待せられてゐる

の成行を一般から期

の賛成者を決め連判状を作

製し分べん流産等によつて

も改正後は著信電信官署名を附記する事より

りに著信電信官署名を附記する事より

改定後は著信電信官署名を附記する事より

義太夫會

錦祥後幕綾張被露

老巧美音年配からして先

づ以て真打として敬すべし

に著敷き進境を認め得る者

の意見仁義、兄、二、頃が

智しでも此不景氣を忘れる

事だ。

期日ハ當ル七月五日ヨリ

見度い／＼

の三人は後れて聽かす。

力は紹すべし、こんど東京

の如き崩落の機会に備えし

歌舞伎

老巧美音年配からして先

の金曉は十八番の先代定

○面白芝居安値段

◎涼しい劇場

歌舞伎

◎

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○